

## アンティパトリス(英語 Antipatris ギリシャ語 Ἀντιπατρὶς)

使徒言行録23章31節に出現する地名で、エルサレムの北西にある町です。 ヨッパとカイザリアの間にあり、土地は肥沃で沿岸部からもそう遠くない所に立地していました。パウロがエルサレムのユダヤ人議会で尋問を受けたのち、パウロ暗殺の陰謀が露見し、千人隊長が百人隊長二人に命じて、夜のうちに、カイザリヤの総督フェリクスへパウロを護送する途中に彼らにとどまった町です。

ヘロデ大王によって建設され、彼の父であるアンティパテルに因み、アンティパトリスと命名されました。

参照文献 : Thayer, Greek-English Lexicon of the NT